



がんばろう東北 復興の折り鶴プロジェクト  
第5回 NYから被災地へ復興の願いをこめ集めます

この度、米国世界貿易センターの被災者やその遺族達で結成された911家族会 (September 11<sup>th</sup> Families' Association) が東日本大震災の被災地で、郡山市、石巻市、雄勝町、相馬市、などを訪問し、今回で5度目となるピアサポートを通じた被災者支援を行うことをお知らせします。

記

1 訪日日程

平成28年 (2016年) 7月26日 (火) ~ 7月31日 (日) 予定

2 訪日予定者

911家族会 (September 11<sup>th</sup> Families' Association)

NYマウントサイナイ医科大学国際精神科所長 准教授 クレグ カッツ医師

NYマウントサイナイ医科大学内分泌科プログラム所長 教授 柳澤ロバート医師

NJイングルウッドロータリークラブ 2013年度会長 柳澤 育代

(現在2560地区奈良ロータリークラブ会員)

3 訪日スケジュール 別紙添付

4 主催

米国日本人医師会 (JMSA)、国際ロータリー7490地区イングルウッドロータリー (NJ)

5 協賛

アメリカン航空 (Miles for Kids in Needプログラム)、米日財団 (United State-Japan Foundation)、国際ロータリー グローバルグラント

6 協力団体

外務省在ニューヨーク日本国総領事館、ジャパソサエティ (NY)、ジャムズネット、郡山西ロータリークラブ、仙台ロータリークラブ、奈良ロータリークラブ、マウントサイナイ医科大学、911家族会 (September 11<sup>th</sup> Families' Association) 等

7 問い合わせ先

米国日本医師会 副会長 柳澤 ロバート医師 電話 +1 - 917-538-7707

e-mail: [robert.yanagisawa@mountsinai.org](mailto:robert.yanagisawa@mountsinai.org)

米国菊一ニューヨーク兼 (株) 菊一文珠四郎包永 取締役社長 柳澤育代

電話 +1 - 914-450-7330 (米国) 0742-26-2211 (日本)

e-mail: [194yanagisawa@gmail.com](mailto:194yanagisawa@gmail.com) 090-3978-0931 (日本携帯)



United States-Japan Foundation



## がんばろう東北 復興の折り鶴プロジェクト 第5回 NYから被災地へ復興の願いをこめ集めます

### 【主な行事】

#### 1) 3.11 被災者と 9.11 家族会の心の交流イベント

米国同時多発テロによって沢山の同僚や家族を失った 9.11 家族会メンバーら 6 名が、被災者との対話を通じて、その悲しみを共有し、また、自らの体験からその悲しみをどのように乗り越え、未来に向かって歩きはじめたかについて被災者に語ります。米国から災害精神科医や子供の心理カウンセラーも同行し、総勢 13 名でピアサポートをします。

福島県相馬市「相馬広域こころのケアセンターなごみ」及び「飯舘村大野台第 6 仮設住宅」、福島県郡山市「富岡町 3.11 を語る会・おだがいさまセンター」、宮城県石巻市「震災こころのケア・ネットワークみやぎ からこころステーション」、「雄勝ローズファクトリーガーデン」などにおいて実施予定。

#### 2) 広島-NY-福島、日米つなぐ命の絵本「サダコの折り鶴」

復興への勇気をもたせるシンボルとして「復興の折り鶴」が福島県郡山市開成山公園に寄贈されています。日本各地からの沢山の千羽鶴によって癒された 9/11 家族会が、その恩返しに 9/11 で崩壊したビルの鉄材から「復興の折り鶴」を NY ブルックリンで製作し、2012 年に福島に持参しました。震災後の影響が様々な形で現れている被災地の子供たちの為に、9.11 と 3.11 をサダコの折り鶴が繋げるこの絆の話を長崎出身の本多恵理氏が NY で書き上げ、ロータリーが福島から出版した絵本を紹介し、絵本は 9.11 と 3.11 の被災者らが、国や文化の違いを超えて佐々木貞子の折り鶴によって結ばれ、励まされるという内容で、命の大切さを教えます。協賛団体の協力を得て、福島県内の図書館、全幼稚園、全小学校に一万冊が寄贈されています。既に英語に翻訳され米国でも図書館や幼稚園に寄贈されています。これから更にスペイン語に翻訳され、更に増版を予定中。

#### 3) 第 60 次式年造替の奈良春日大社での鍛冶の奉納に特別参拝

春日大社さんが、東日本大震災以来毎日欠かすことなく朝昼夜と 3 度の祈禱をされ、支援されていたことで、今迄から春日大社さんの祈禱には 9.11 家族会も参加して来ました。今回は 20 年に一度執り行われる社殿の修築大事業でこの度は第六十次式年造替に合わせて特別参拝、全員日本語で祈禱をします。